

2025 年 10 月 1 日

開先付き異形棒鋼「NewJ-BAR」
-設計マニュアル等改訂について-

〒107-0052

東京都港区赤坂 2-17-50-3605

株式会社ブレイブ

Tel 03-6441-3065

Fax 03-6441-3066

この度、『開先付き異形棒鋼 WSD490・WSD390 設計マニュアル（杭頭補強編）2025 年 10 月』、『杭頭補強に関する特記』、『施工要領書』、『杭頭補強筋溶接施工検査チェックシート』において、下記のとおり一部、修正、及び追記を致しました。

記

1. 設計マニュアル

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1	P6 備考 5	削除予定の文章が取り消し線でそのまま表示されていたため、削除致しました。	
2	P20 本文 4.2.2 3)	配列設計上の限界の間隔の数値を示した「最小間隔推奨値」の記載を削除し、「限界心の間隔」と円滑な施工のための「心の間隔」とその考え方を明確に表示するように致しました。	「限界心の間隔」の考え方は従前の「最小間隔推奨値」を満足しているため、既存の設計に修正は必要ありません。
3	P20 本文 4.2.2 3)	鉄筋の太さを示す記号を「d」に統一し、表現を「鉄筋の呼び名に用いた数値」に統一しました。	
4	P20 解説 3)	「溶接作業間隔最小値」は配列設計に関する数値ではなく施工における微調整に関する数値であることから設計マニュアルより削除致しました。	
5	P23 解説 4.2.5 1)	J-BAR の折り曲げ可能な方向を示す図を追加致しました。	

注 記載のページ番号は改定後の設計マニュアルのページ番号となっております。

2. 特記仕様書

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1	5. 検査	アンダーカットについて（一社）日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事」に従った表示をしていましたが、平成 12 年建設省告示第 1464 号に従った表示とするように致しました。	
2	6. NewJ-BAR の配列	設計マニュアルの改訂に併せて、「配筋用参考値」と「溶接作業間隔最小値」を削除し、配筋設計の間隔について考え方を明確に表示するように致しました。	「限界心の間隔」の考え方は従前の「配筋用参考値」を満足しているため、既存の設計に修正は必要ありません。

3	6. NewJ-BAR の配列	鉄筋の太さを示す記号を「d」に統一し、表現を「鉄筋の呼び名に用いた数値」に統一致しました。	
4	7. NewJ-BAR の定着形式	J-BAR の折り曲げ可能な方向を示す図を追加致しました。	

3. 施工要領書

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1	表紙 P8 (6)③ 付表 1	アンダーカットについて（一社）日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事」に従った表示をしていましたが、平成 12 年建設省告示第 1464 号に従った表示とするように致しました。また、それに伴い表紙の参考文献一覧に平成 12 年建設省告示第 1464 号を追加致しました。	

4. 杭頭補強筋溶接施工検査チェックシート

番号	改訂箇所	改訂内容	備考
1	表紙 記入シート	施工要領書の改訂に併せて、アンダーカットについて平成 12 年建設省告示第 1464 号に従った表示とするように致しました。	
2	記入シート	オーバーラップについて、表紙に合わせた表現と致しました。	

上記資料、およびその他の改定点・詳細はホームページ(<http://www.j-bar.jp/>)をご参照ください。

以上